光を北方から

令和６年度学校だより第３号
＜発行責任者＞
北海道旭川盲学校
校長 野本　雅明
令和６年１２月２４日

新しい年に「平和」を思う

校　長　野　本　雅　明

12 月、この終業式の日を迎えると毎年思うのですが、「無事にこの日を迎えることができてよかった」と。今年一年の様々な出来事を振り返り、何事もなくこの日を迎えられたことに大きな喜びと安堵を感じております。ただ、少し外に目を向ければ、依然、国と国との争いは続き、その戦火は拡大しそうな気配も・・・。私たちの平穏な生活が決して絶対ではないことが伺えます。**「アインシュタインとフロイトの往復書簡」**というものをご存じでしょうか。1932 年、国際連盟がアインシュタインに「もっとも大事だと思われる事柄について、一番意見を交換したい相手と書簡を交わしてください」と依頼しました。アインシュタインが選んだ相手は、心理学者のフロイトで、テーマは「戦争」でした。往復書簡ですので、何回かのやり取りが行われたのですが、最後フロイトは「戦争を止めるのは、人間の知性や文化に期待する」と締めくくりました。様々な識者がこの答えについて考察しておりましたが、私自身、この答えをどのように捉えたらよいか、明確な解が見つかりません。ただ、この答えが正しいのであれば、「教育」のもつ意義は非常に大きいのではないかと思います。なぜなら、知性や文化を身に付けるのは、「教育」の担う、大きな目的の一つでもあるからです。

少し大きな話となってしまいましたが、旭川盲学校の幼児・児童・生徒たちは、平和で、安全な環境の中で、伸び伸びと学習に取り組み、友達との学校生活を通して大きく成長することができております。こうした環境は、この先もずっと続くべきものであり、そのためには、大人である私たちこそが真に平和を求め、他人を愛し、互いを認め合う社会をつくっていくことではないかと考えます。その環境の中で学び、成長した子どもたちが、また次の平和な社会を築いていく。そうした循環こそが、フロイトの言う「知性」と「文化」なのではないかと思うのです。

来年は巳（ヘビ）年となります。脱皮するヘビの習性から、巳年は**「再生と変化」**の年になると言われています。世界中に平和が戻り、全ての人々が安全な環境の中で、幸福に生活できることを強く、強く希望いたします。

みなさま、どうぞよい年をお迎えください。来年もよろしくお願いいたします。

幼稚部の様子

昨年、二人揃って参加できなかった行事が、たくさん実現した２学期となりました。西イオンへの親子遠足では、いろいろな遊具で遊んだり、みんなでお昼ご飯を食べたりすることができました。学習発表会では、ステージ上で手紙のバトンタッチができたり、セラピードッグとも触れ合ったり、日常の活動の中でも互いに意識し合って頭や肩をなでたりする様子も見られています。（時にはパチンと良い音がするときも・・・）

さあ、冬休みが終わればあっという間の３学期です。充実した楽しいコアラ組にしていきたいと考えています。

小学部の様子

２学期に入り、１年生から５年生まで一緒に学習する機会も増えてきました。学校近くの公園に出かけたり、野菜を育てて収穫したりと、少しずつ集団を広げた場面も設定していきました。中でも、社会見学は、みんなで「消防署」に出かけた大きなイベントでした。避難訓練等で消防車に触れたことはあっても、実際に消防署に行くことは初めての体験・・・消防署の方の話をしっかり聞いて、短い時間でしたが消防士体験をすることができました。

今年度のまとめの３学期が冬休み明けから始まります。引き続き、一日一日の学習を大切にして楽しく勉強していきたいと考えています。

中学部の様子

いろいろと行事が多かった２学期でしたが、中学部４名で元気に乗り越えることができました。文体連では、暑さに負けずに陸上の練習を重ね、札幌で実力を発揮することができました。職場体験では、それぞれが別々の事業所での仕事を体験し、普段の学習を積み上げてきた成果を見せることができました。学習発表会では、劇と外国語・音楽発表に向けて精一杯、練習しました。本番は、アクシデントが重なりましたが、最後までやりきることができました。これも、本人たちの努力と、保護者のみな様の支援のおかげです。また、地域の方々のあたたかい拍手なども生徒たちの力になりました。本当にありがとうございます。子どもたちは自分の気持ちをいろいろな形で表出します。そうした表現を大らかに受け止められる大人や仲間がいることはこの上なく幸せなことでしょう。３学期も、楽しく明るい学校生活を送りながら、様々な学習に取り組んでいきます。

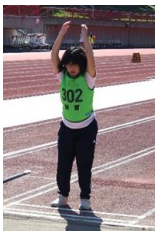
文体連の様子

９月１１日、１２日、文体連で札幌への遠征を行いました。１日目の交歓会は札幌視覚支援学校で行われました。全道４校との交流ということで、良き出会いの時間となりました。また、本校を卒業し高等部に通う先輩たちが駆けつけてくれ、旭川盲学校のつながりの良さを実感することができました。今年５年生となり文体連デビューの武田さん、そして、最後の文体連の金谷さんも初めて札幌保養センター駒岡に宿泊しみんな一緒にごはんを食べたり、部屋でお話しをしたりしながら過ごすことができました。

２日目の体育活動発表は円山陸上競技場での開催でした。前の週に旭川の陸上競技場で行った校内記録会の成果を発揮することができました。スタート前に緊張する様子や最後まで頑張る様子を見ることができて、素晴らしい活動となりました。特に表彰を受けた際の笑顔は、旭川盲学校が一番と思うほど素晴らしい笑顔だったと感じています。そして、中学部４名で挑んだ４×１００ｍリレーでは、「バトンをつなげ！」と、アンカーの金谷さんへ。最高学年の金谷さんが、ゴールテープを切った瞬間は会場からもたくさんの拍手で迎えられ、とても感動的なシーンでした。

この文体連の遠征に伴い、支援していただいた本校後援会の皆様をはじめ、応援していただいた保護者の皆様、本校教職員の皆様には心より感謝いたします。

さて、来年は旭川で４校が集まり文体連が開催されます。来年は、応援だけではなく、多くの皆様方のご協力をお願いすることになります。どうぞよろしくお願いします。



学習発表会の様子

１０月２６日（土）に学習発表会が行われました。今年度は、「とどけよう！ みんなの心に えがおを」のテーマのもと、幼児児童生徒の１１人全員で力を合わせて発表をしました。

幼稚部・小学部の劇「スイミー」では、幼児児童一人ひとりが、海の生き物になり、得意なことや普段の学習の成果を発表しました。最後は、みんなで力を合わせて、スイミーと赤い魚たちが大きな魚となり、黒い魚をやっつけることができ、達成感あふれる劇でした。

中学部の劇「いつかの桃太郎」では、桃太郎と猿、犬、キジたちが、鬼ヶ島に向かう途中に、ボール投げをしたり、国語や数学の問題に答えたりと、難問に挑戦します。中学生４人で力を合わせて、鬼の悪い心を退治し、見事に平和な村を取り戻すことができ、感動的な劇でした。

外国語・音楽活動では、ALT のピーター先生と一緒に、絵本や歌に合わせて身体を動かして表現をしました。また、音楽発表では、各グループに分かれて太鼓をしたり、合唱をしたりして、心を奏でることができました。

最後に、「おやじの会」の皆さんのサプライズな発表がありました。会場のみんなで「ウィ・ウィル・ロック・ユー」を歌ったり踊ったりして盛り上がり、一体感を感じた学習発表会となりました。

「PTA 親子スケート」

11 月 29 日（金）に道北アークス大雪アリーナにて、毎年恒例の PTA 親子スケート大会が行われました。スケートリンクを貸し切ることで、日常では体験することがなかなか難しい冬のスポーツを楽しむことができました。初めてのスケート体験もお父さんやお母さんに手を引いてもらいながら挑戦し、子どもも大人も年々上達していく様子が見受けられました。スケート靴で滑るのが難しい子どもたちは、ラピッドスレーというイスや、雪遊び用のそり等で大人に引いてもらいながら、氷上を滑る体験を楽しみました。休憩時間には、PTA から袋詰めされたお菓子のプレゼントがありました。今年もたくさんの幼児児童生徒・保護者・教員が参加し、笑い声の絶えない楽しい時間になりました。

寄宿舎「クリスマス会」

12 月 18 日(水)にクリスマス会がありました。クリスマス会にむけてツリーの組み立てと飾り付け、画用紙を丸めた三角帽子の制作を行いました。それぞれが配置を考えながら、かわいらしく素敵な飾り付けをしてくれました。

また、クリスマス会当日は、お楽しみタイムがあり舎室対抗のゲームを行いました。余暇時間には子ども同士で玉入れの練習をしていました。昨年度から舎生は減少しましたが、みんなで盛り上がり楽しい会となりました。その元気な声を聞いてサンタさんとトナカイがプレゼントを持ってきてくれました。

主な相談窓口（北海道）①　（令和６年４月）

名称	所管等	電話番号	受付	概要
子ども相談支援センター（24時間子供SOSダイヤル） （メール相談）	北海道教育委員会（文部科学省）	0120-3882-56 (0120-0-78310) sodan-center@hokkaido-c.ed.jp	毎日24時間対応	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、性的マイノリティ、性暴力の被害、家庭の事情で自分の時間がとれない、ヤングケアラーに関することなど、様々な悩みを相談できます。
ほっかいどうこどもライン相談	北海道教育委員会	LINE	令和６年５月20日 令和７年３月24日 までの月曜のみ 17:00～22:00	いじめ、不登校、性暴力の被害など、様々な悩みを相談できます。 対象：中学生、高校生 左記以外の相談期間 ５/１～５/13毎日17:00～22:00 ８/７～９/18毎日17:00～22:00 １/８～１/31毎日17:00～22:00
児童相談所虐待対応ダイヤル「189」	北海道保健福祉部（厚生労働省）	189 （いちはやく）	毎日24時間対応	虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを児童相談所に通告・相談できます。
親子のための相談LINE	北海道保健福祉部（厚生労働省）	LINE	平日9:00～17:00	いじめ、不登校、ヤングケアラー、虐待など様々な家族・家庭の相談ができます。
北海道いのちの電話	社会福祉法人 北海道いのちの電話	011-231-4343	毎日24時間対応	様々な悩みを相談できます。
子どもの人権110番	法務省	0120-007-110	平日8:30～17:15	いじめ・体罰等について、法務局職員・人権擁護委員に相談できます。
チャイルドラインほっかいどう	認定NPO法人 チャイルドライン支援センター	0120-99-7777	毎日16:00～21:00 (12/29～1/3除く)	18歳までの子どもが電話・チャットで様々な悩みについて相談できます。

主な相談窓口（北海道）②

名称	所管等	電話番号	受付	概要
少年サポートセンター 「少年相談110番」	北海道警察	0120-677-110	平日8:45～17:30	いじめ・犯罪等の被害に悩む子どもやその家族が警察に相談できます。
こころの電話相談	北海道立精神保健福祉センター	0570-064-556	平日9:00～21:00 土日祝10:00～16:00	様々な悩みを相談できます。
北海道こころの健康SNS相談	北海道保健福祉部		平日、土曜日 18:00～22:00 日曜日 18:00～翌朝6:00	日常生活や学校生活に関する悩みを相談できます。
性暴力被害者支援センター北海道 （SACRACH さくらこ）	北海道、札幌市	050-3786-0799 または ＃8891	平日10:00～20:00 （土日祝祭日、12/29～1/3除く）	子どもや大人が性暴力の被害について相談できます。
		sacrach20191101@leaf.ocn.ne.jp		
北海道ヤングケアラー相談サポートセンター	北海道保健福祉部	0120-516-086（電話）		ヤングケアラーに関する相談ができます。 開設時間 平日　8:45～17:30
		hokkaido.young.carer2022@gmail.com		
		080-9612-1247（SMS専用）		
		facebook.com/hokkaido.young.support (Facebook)		
		@youngcarer2022 (X　旧:Twitter)		

○北海道教育委員会 生徒指導・学校安全課 ＨＰ

「ＳＴＯＰ ＳＮＳ Ｔｒｏｕｂｌｅ ポータルサイト」

（https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/165453.html）

児童生徒向け資料

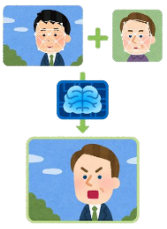
北海道教育委員会
令和６年12月

インターネットの情報をうまく見分けよう！

➢これ、本当に正しい？ちょっと確認してみよう

SNSや動画サイトは、友達とつながったり、情報をすぐに得たりできる便利なツールですが、その中には嘘の情報や感情に働きかけるような内容もあります。例えば、「あの事件の真実は…！」という投稿を見たとき、その情報が本当に正しいか疑ってみることが大切です。最近では、本物に見える嘘の動画や画像も増えています。情報が本当かどうか冷静に考えることが重要です。

では、どうすれば嘘の情報にだまされないようにできるのでしょうか？



AIで顔を入れ替えた動画を簡単に作ることができます。

➢だまされないための3つのポイント

① どこからの情報なのか確認しましょう

情報の出どころや根拠としているものを確認し、かたよった意見や間違った情報にまどわされないよう、信頼できるメディアや公式サイトを優先しましょう。

② 感情的にさせる情報に注意しましょう

怒りや不安を引き出す情報は感情的な反応を呼び起こしやすく、拡散されやすい特性があります。例えば、「○高校の生徒が悪いことをしている！」という怒りを引き起こす投稿は、多くの人に広まりやすく、正しい判断を鈍らせることがあります。そのため、冷静に情報を確認することが大切です。

③ 他の情報とくらべてみましょう

見たり聞いたりした情報をそのまま信じるのではなく、他の情報とくらべておかしな点がないかを確認することが重要です。

SNSや動画サイトで見た情報が必ず正しいとは限りません。もし気になる情報を見たときは、冷静に他の情報を確認したり、大人に相談したりすることが大切です。これらのポイントを守って、情報をしっかり見極めましょう。

◎本資料は北海道教育委員会の委託を受けてポールトゥウィン株式会社が令和６年12月に作成したものです。

保護者向け（全学校種向け）

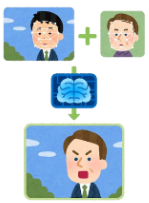
令和6年12月
北海道教育委員会
ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト

SNSや動画サイトの嘘の情報に惑わされないために

ＳＮＳや動画サイトは、日々の情報収集やコミュニケーションに欠かせないツールとなっています。しかし、その便利さと同時に、事実に基づかない情報や虚偽の内容が広がるリスクもあります。

ネットに広がる嘘の情報とその危険性

近年、情報のエンターテイメント化が進み、感情をかき立てるような見出しや内容が目立つようになりました。このような情報は、事実よりも感情的な反応を引き出すことを目的として広まりやすくなっています。例えば、ＳＮＳ上に偽の画像やＡＩで作られたフェイク動画が広がり、その情報の受け手が誤った認識をもってしまうケースが報告されています。このような情報は、私たちの判断や行動に影響を与え、時には社会全体の混乱を招く可能性があります。



ＡＩで顔を入れ替えた動画を簡単に作ることができます。

嘘の情報に惑わされないための3つのポイント

① 情報源を確認する

情報がどこから来ているのか、その発信元や根拠としているものを確認しましょう。信頼できるメディアや公的機関など、実績のある情報源から発信された情報を優先して参照することが大切です。

② 感情に訴えかける内容に注意する

情報が感情的な反応を引き出そうとする場合、その内容に注意が必要です。例えば、事件に勝手なストーリーをつけて興味を引き、誤った情報を広めたり、正義感をあおって特定の人に批判が集中する流れを作ろうとする場合があります。情報の真偽を冷静に確認することが重要です。

③ 他の情報源と照らし合わせる

単独の情報に頼るのではなく、複数の信頼できる情報源を参照して、事実関係を確認しましょう。異なる視点からの情報を集めることで、真実に近い情報を得ることができます。

家庭での指導

ＳＮＳや動画サイトは情報を手軽に得られる便利なツールですが、その中には虚偽の情報や感情をあおるような内容が潜んでいることがあります。正しい情報を得るためには、目の前の情報を鵜呑みにせず、落ち着いて上記で挙げたポイントを確認することが大切です。子どもがそのような情報に触れる機会も増えています。ＳＮＳや動画サイトで見かけるうわさ話や誤った情報を取り上げ、それがどのように広がっていくのか、なぜ広がってしまうのかを子どもと一緒に考えてみましょう。その中で、普段接している情報の中にも、間違っていたり、誰かを騙そうとしている情報が含まれていることを、子ども自身が気が付くことが大切です。

ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト
ネット利用に関わる専門的な相談の窓口です

◎本資料は北海道教育委員会とポールトゥウィン株式会社が令和6年12月に作成したものです。
子どもたちのインターネット利用に関わる相談等がありましたら、下記のURLまでご相談ください。
≪北海道教育委員会ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト≫
https://webreport.public.ptw.jp/hokkaido/helpsite/